

# 公共投資における官民連携手法（PPP/PFI）のご紹介

弊社は、国土交通省「PPP 協定パートナー」に選定されました。そこで、自治体の皆様に、PPP/PFI の知識・ノウハウ等を無償でお伝えしたいと思います。

国土交通省は、平成 30 年 4 月、PPP/PFI を推進する地方自治体や民間事業者を後押しするため、株式会社テイコクを含む民間 39 事業者と、平成 30 年度の「PPP 協定」を締結しました。

政府は、厳しい財政状況の中、民間の資金・知恵等を活用し、公的部門の負担削減による財政健全化、公共サービスの質の向上、新たなビジネス機会の拡大による経済成長等の多様な面での効果発揮が期待される、PPP/PFI の推進を図っています。

国土交通省では、平成 29 年度より民間事業者と PPP 協定を締結し、PPP/PFI をより効果的かつ効率的に実施するための取組を支援しています。

## 〔弊社が行う説明会：PPP/PFI の紹介内容・例〕

### 1. PPP/PFI について

- ① PPP/PFI の定義・特徴（事業スキーム、事業フロー等）
- ② 施設等の整備・運営、公有資産の扱い
- ③ 関係する自治体・事業者・住民等のメリット

### 2. PPP/PFI をめぐる最近の国・岐阜県内の動向

- ① 国の取り組み（支援措置等）
- ② 県下の取り組み状況

### 3. PPP/PFI の事例

- ① 成功事例と失敗事例のポイント
- ② 事業実施の可能性

※説明会は、2 時間程度を想定しています。

# PPP/PFI のメリット（PFI 手法を例に）

## 1. 低廉かつ良質な公共サービスの提供

一括発注、性能発注により、PFI 事業に参加する企業は、専門的な経営上のノウハウや技術的能力を最大限に活用し、維持管理（運営）コストが最も安くなるような設計・建設等が行われ、全事業期間を通じた財政負担縮減が期待できます。

また、利用者にも民間の持つサービス提供のノウハウ等が発揮され、良質な公共サービスの提供にもつながることが期待されます。

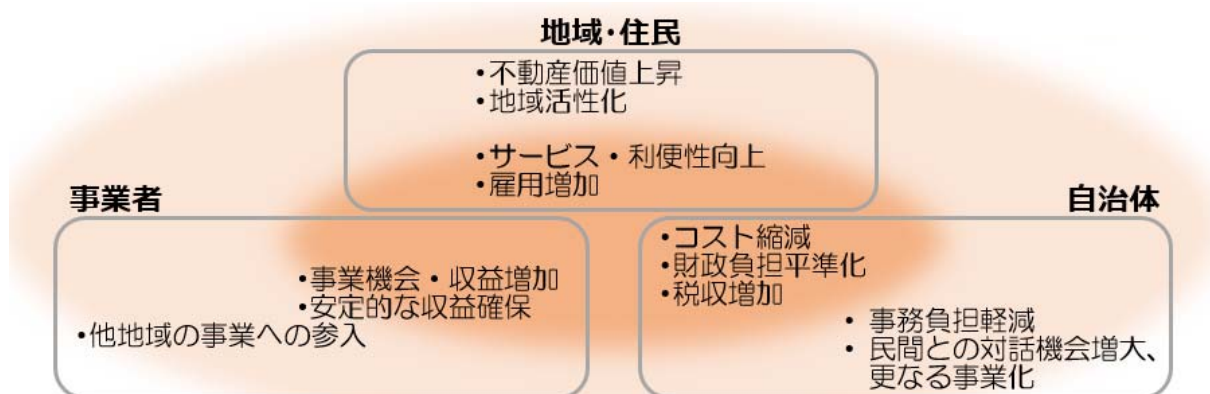
## 2. 財政支出の平準化

従来型の公共施設等建設の場合、地方債の発行と自己財源及び国の補助金で建設費を負担し工事期間中に支払うことが必要となります。

PPP/PFI では、公共施設等の供用開始以降、全事業期間にわたりコスト平準化が図られ、厳しい財政事情で必要な公共施設等の早期整備が可能となります。

## 3. 民間の事業機会の拡大

PPP/PFI は、民間事業者が必要な資金を調達し、施設の設計、施工及び維持管理（運営）を行い、行政は事業経営に参画しないため、行政が行ってきた分野への民間事業者の参入可能性が広がり、事業機会の拡大・新規産業の創出につながることが期待されます。



(出典：国土交通省資料をもとに作成)

## お問い合わせ先



<http://www.teikoku-eng.co.jp/>

〔担当〕

社会システムセンター まちづくり推進部 太田 n-ohata@teikoku-eng.co.jp  
岐阜市橋本町2-8（濃飛ニッセイビル6階） TEL 058-214-3459 FAX 058-252-3766